

(参考)

1. 化学物質アドバイザーとは

化学物質に関する専門知識や、化学物質についての的確に説明する能力などを有する人材として、一定の審査を経て登録されている方々です。市民や行政、企業のいずれにも偏らず、中立的な立場で化学物質に関する客観的な情報提供やアドバイスを行います。

環境省では、化学物質に関する一般の方々の疑問に答えたり、情報を提供したりする「化学物質アドバイザー」を派遣する事業を試行しています。化学物質アドバイザーの活動は、営利を目的としたものではありません。自発的な協力のもとに情報提供活動を行っています。

化学物質アドバイザー制度はいわゆる資格制度ではありません。「化学物質」「環境リスク」「環境関連法規」及び「リスクコミュニケーション」に関する知識とスキルが一定レベル以上であることを認定し、派遣する制度です。

登録の基準は、大学や大学院で化学関連を専攻し、一定期間社会人としての経験を積んでおり、かつ環境リスクの考え方やコミュニケーション能力等を持っている方です。全国から約400名が受験し、厳正に審査された上で、現在24名の人材が登録されています。化学物質アドバイザーの多くは有職者で、日頃は化学系会社、病院の医薬局、消費者団体、行政機関などで働いています。(OBの方もいます。)

登録後も、年に数回研修会を行う他、個人で常に新しい情報を収集していますので、化学物質に関する新しい知見や法律の改正、海外の最新動向などについても幅広くフォローしています。

2. 化学物質アドバイザーの役割

化学物質アドバイザーは、市民、企業、行政からの要請に応じて、「化学物質」や「化学物質による環境リスク」に関する疑問に分かりやすく答えたり、関連する情報を提供することにより、化学物質に関する皆さんの理解を促進するお手伝いをします。

化学物質アドバイザーが活躍する場面は「リスクコミュニケーションの場」及び「化学物質に関する勉強会や講演会」の2つがあります。

リスクコミュニケーションの場・・・化学物質アドバイザーの役割は参加者の化学物質に対する理解の促進ですので、会の運営や司会進行、トラブルや利害の調整には関与しません。

化学物質に関する勉強会や講演会・・・化学物質アドバイザーは、市民グループの勉強会や企業の社内研修会、行政の市民及び企業向け説明会等における講師としても派遣しています。

3. 化学物質アドバイザーの派遣実績

化学物質アドバイザーの過去の派遣実績は下の表の通りです。

表 化学物質アドバイザーの派遣実績（平成15年度～19年度）

依頼者種別	派遣回数				
	H15	H16	H17	H18	H19
行政・自治体	24	25	31	34	24
企業・業界団体・工業界	7	6	5	5	13
NGO(市民グループ)	6	5	11	6	3
NPO(専門家集団等)	7	1	0	3	1
NPO(公益法人等)	6	5	4	2	1
その他	1	0	4	0	1
合 計	51	42	55	50	43